

ド イ ツ 語

科目責任者 能 登 慶 和
学年・学期 1 学年・通年

I. 前 文

獨協学園の「獨協」は「獨逸（ドイツ）学協会」の略称である。その名前の由来からも分かるように、獨協学園はその創設時からドイツ連邦共和国とは密接な関係にあり、獨協学園は「語学の獨協」ともいわれている。実際、国際的視野を持った医師を育成することは獨協医科大学の教育目標の一つでもある。

外国語を学ぶ最大のメリットは、自分たちとは異なる価値観や世界観を持つ外国の文化と出会い、また異なる「他者」の存在を認識し、そこから逆に、日本の文化、そして自らを相対化、客体化して眺めることができるようになる点にある。ドイツ語ではこの「文化的複眼」の獲得をめざし、グローバルな視点から物事をとらえる能力を養う。

II. 担当教員

能 登 慶 和（語学・人文教育部門）

III. 一般学習目標

1. ドイツ語の基礎的な構造を、その考え方の特徴から理解する。
2. ドイツ語独自の考え方と、日本語および英語の考え方との共通点や相違点を理解し、その構造を比較する。
3. ドイツ語を学ぶことによって、私たちとドイツ人の価値観の違いを知り、複眼的視点から異文化をとらえる。
4. ドイツ語で簡単な意思疎通ができるよう、「読む」・「聴く」・「書く」・「話す」に「interaction」を加えた5技能の総合的なコミュニケーション能力を習得する。

IV. 学修の到達目標

1. ドイツ語の正しい発音を身につける。
2. 基本語彙を習得し適切に使用する。
3. ドイツ語の文法の概略を理解し応用する。
4. 簡素に書かれたドイツ語の文章を理解する。
5. 基本的な会話のパターンを身に付け、他者と対話する。
6. 日本とドイツの異文化に着目し、説明する。

V. 授業計画及び方法 *（ ）内はアクティブラーニングの番号と種類

（1：反転授業形式（事前学習用動画等の教材を前もって配付する。原則として授業中に事前学習の内容に関する小テストを行い知識の確認を行う。）

2：ディスカッション 3：グループワーク 4：実習 5：プレゼンテーション 6：その他）

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブラーニング
1	4	14	水	4	Lektion 00：Alphabet und Aussprache アルファベット、母音、子音	能 登 慶 和	1
2		14	水	5	Lektion 00：Alphabet und Aussprache 数字、挨拶		1
3		21	水	3	Lektion 01：Wie heißt du? 人称代名詞の種類と動詞の変化の基礎		1
4		28	水	3	Lektion 01：Wie heißt du? 語順と疑問詞		1

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
5	5	12	水	3	Lektion 02 : Was studiert er? 人称代名詞と動詞の人称変化	能 登 慶 和	1
6		19	水	3	Lektion 02 : Was studiert er? seinとhabenの人称変化		1
7		26	水	3	Lektion 03 : Was isst du gern? 不規則変化動詞の人称変化①		1
8		26	水	4	Lektion 03 : Was isst du gern? 不規則変化動詞の人称変化②		1
9	6	2	水	3	Lektion 04 : Ich habe einen Bruder. 名詞の格		1
10		9	水	3	Lektion 04 : Ich habe einen Bruder. 定冠詞の格変化		1
11		16	水	3	Lektion 04 : Ich habe einen Bruder. 不定冠詞の格変化		1
12		23	水	3	1学期のまとめ		3
13		23	水	4	1学期のまとめ		3
14	8	25	水	3	Lektion 05 : Kannst du Klavier spielen? 話法の助動詞		1
15		25	水	4	Lektion 05 : Kannst du Klavier spielen? 話法の助動詞の人称変化		1
16	9	1	水	3	Lektion 05 : Kannst du Klavier spielen? 話法の助動詞の文構造		1
17		8	水	3	Lektion 06 : Mein Vater ist Ingenieur. 所有冠詞と否定冠詞		1
18		15	水	4	Lektion 06 : Mein Vater ist Ingenieur. 所有冠詞の格変化		1
19		29	水	3	Lektion 06 : Mein Vater ist Ingenieur. 否定冠詞の格変化		1
20	10	6	水	4	Lektion 07 : Wie findest du diese Krawatte? 定冠詞類と格変化		1
21		6	水	5	Lektion 07 : Wie findest du diese Krawatte? 人称代名詞の3格		1
22		13	水	3	Lektion 07 : Wie findest du diese Krawatte? 人称代名詞の4格		1
23		20	水	2	2学期まとめ		3
24		20	水	3	2学期まとめ		3
25	11	10	水	3	Lektion 08 : Ich komme mit dem Zug zur Uni. 前置詞の格支配①		1
26		17	水	4	Lektion 08 : Ich komme mit dem Zug zur Uni. 前置詞の格支配②		1
27		17	水	5	Lektion 08 : Ich komme mit dem Zug zur Uni. 前置詞の格支配③		1
28		24	水	3	Lektion 09 : Wann fährt der Zug ab? 分離動詞と非分離動詞		1
29	12	1	水	3	Lektion 09 : Wann fährt der Zug ab? 分離動詞と構文		1
30		8	水	3	Lektion 09 : Wann fährt der Zug ab? 時刻の表現		1
31		15	水	3	Lektion 10 : Was hast du in den Ferien gemacht? 動詞の三基本形		1
32	1	5	水	3	Lektion 10 : Was hast du in den Ferien gemacht? 過去形		1

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
33	1	12	水	3	Lektion 10 : Was hast du in den Ferien gemacht? 現在完了形	能 登 慶 和	1
34		19	水	2	3学期まとめ		3
35		19	水	3	3学期まとめ		3

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

1. 成績は、各授業時に行う確認テスト（2割）、各学期末に行う口頭試験（2割）および定期試験（5割）、課題提出等（1割）から総合的に判定する。
2. 確認テストは事前の予習動画に基づいて出題する。
3. 口頭試験では実際に対話を実践してもらうので、普段から発音を意識して積極的に対話練習に励むこと。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

教科書：「ミニマムドイツ語・ノイ」 熊谷哲哉著 朝日出版社 本体定価：2,200円＋税

VIII. 質問への対応方法

質問は随時受け付ける。簡単な質問であれば、授業中あるいは直後に対応可。研究室（基礎棟3階、ドイツ語教員室、内線2197）に直接来て質問してもよい。その際には予めアポイントを取ることが望ましい。

担当教員連絡先

能 登 慶 和：y-noto@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題等については授業やLMS等を通じて全体あるいは個別に適宜フィードバックを行う。返却されたプリント類は綴じておくことが望ましい。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

毎回必ず予習動画を視聴してから講義に臨むこと。また，LMS等での演習を通じて復習を行い，自主学習に努めること。

※（所要時間の目安は，シラバス別冊を参照）

XII. コアカリ記号・番号

A7-2), A9-1)